

2016年9月 第49号

三重県労働組合総連合

〒514-0015 三重県津市寿町7-50

みえ平和と労働会館

TEL 059-223-2615 FAX 059-223-4495

http://mieroren.labornet.jp/

みえ労連

zenroren

行事予定

10/11(火)~21(金) 第12回みえ労連自治体キャラバン (14市15町・三重県、教委、17病院)

10/21(金) 10・21安保破棄三重県集会
18時~フレンテみえ・セミナー室A
記録映画「高江一森が泣いている」と現地報告

10/22(土)~23(日) 全労連東海北陸ブロック交流集会 (四日市・霧ヶ浦会館)

10/30(日) 地域医療を守るシンポジウムと講演のつどい
13:00~三重大学190番教室

憲法改悪阻止・要求前進のため 1万人みえ労連を目指そう

満場一致で議案を採択する代議員のみなさん



みえ労連第28回定期大会を開催

みえ労連は9月4日(日)津市橋南市民センターで第28回定期大会を開催し、1年間の総括と次年度の活動方針を決定しました。大会には15組織 39名の代議員をはじめ70名余が参加し、質疑討論のあと全ての議案が満場一致で可決されました。大会には全労連より常任幹事の笠井智仁さん(組織・法規対策局長)出席し、連帯と激励の挨拶をしました。

来賓あいさつ
全労連常任幹事
笠井さん



昨年今頃は連日国会周辺に行き、私はデモの警備担当として警察と折衝に当たっていた。みえ労連の運動は全国が注目している。組合員を着実に増やしているし、OBが活躍している点で日本一だ。堪えがたきを堪え野党共闘を実現したとも聞いている。激戦区で統一候補を勝利させたことはすばらしい。いつもの発展を誓う大会となることを期待している。

開会あいさつ
みえ労連議長 臼井さん



多くの市民が声を上げ野党共闘が実現し、三重では自公に打ち勝った。みえ労連の存在を市民にアピールできた。私たちは二つの流れのせめぎ合いの中にいる。戦争する国づくりを阻止し、平和憲法が生きる社会をめざし、奮闘しよう。

議案説明 この1年間の取り組み

みえ労連は昨年、事務局体制が不備という発足以来最大のピンチを迎えた。このピンチを、事務局長代行の配置(半日交代の輪番制)と新しい意欲ある書記採用で乗り切り、新たな運動の地平を切り開いた。

戦争法廃止2千万人署名、戦争する国づくりに反対する取り組み
第9回憲法キャラバンでは副知事はじめ各市町の関係職員122名と懇談。

年金者組合作成の『戦争の記憶』は、タイムリーな企画で好評。

「市民連合みえ」の呼びかけに心え、職場内外で参院選勝利に貢献。

雇用の安定と社会保障充実、安心安全社会を目指す全労連大運動

春闘要請(20団体)、春の憲法キャラバン(第9回30自治体)、秋の自治体キャラバン(第11回30自治体17病院 第4回15教委)。その結節点として、第4回あすの三重を考える集い(実行委員会主催)には325名が結集。その後、地域医療・介護での共同、18歳選挙権での若者要求アンケート(地域労連132名で配布)へと発展。

仲間増やしの中計画達成
「8地域労連(29市町ユニオン)結成で、1万人みえ労連の実現」をめざした。10年間続いた連続拡大(10年間で3900名 6200名)は足踏み状態となり、昨年度は若干の微減。全労連が進める「10人に一人が参加する仲間増やしの運動」で1万人みえ労連の達成を目指したい。



議案の説明をする
芳野副議長

以下略(議案書参照)

去年は7回、東京へ行った。何をやってもムダだと組合員に無力感があるのは事実。ネオナチのような政権を支えているのは日本会議だが、彼らは天皇の生前退位に反対しており、保守分裂の様相。一方で野党の共闘がすすんでいるのは希望だ。ともがなばろう。

来賓あいさつ
三教組南勢高支部
池田支部長



来賓あいさつ
日本共産党
三重県委員会
大嶽委員長



三重の野党共闘、みなさんのおかげで最終的にはスッキリした形で実現できた。衆院選で野党共闘できたなら野党は91議席増えて倍加する。改憲は阻止できる。高江へリパッド、70歳以上の医療費1割、2割、介護保険料40歳、20歳、選挙中は一言も口にしなかったことを次ぎ次ぎと持ち出す安倍政権。力を合わせて暴走をストップしよう。



会計報告
新家副議長



会計監査報告
城山さん(生協労連)



議長団
左 森さん(自治労連)
右 瀬尾さん(医労連)

